



門真市市議会議員 戸田ひさよし（無所属；鮮烈市民派）がズバリ直言！

ヒゲ-戸田通信臨時号 市長選結果解説特集：2005年7月14日発行

東市政ついに打倒さる！ が、戸田が応援した河原林候補は惨敗でした。残念！

市長の座を争った三人



そのべー成 20774票 ◎ 自民党府議

67才。自民党府議

差；8032票



東潤 市長 12742票

72才。5期20年間の市長。長すぎ！

差；4403票



河原林まさき 8339票

弁護士43才

共産党系「市民こそ主人公の住みよい門真市政をつくる会」

自民党府議だった園部氏が圧勝当選！

20年ぶりの保守分裂の大チャンスで、なぜ革新派候補は惨敗したのか？

戸田が解説します

河原林候補惨敗は、共産党の愚劣で独善的な排他主義・拙劣戦術のため！

「20年ぶりの保守分裂・合併推進破綻・東市長の20年市政に市民はウンザリ！の今回市長選、実績ある行動派弁護士を立てた絶好のチャンスだったのに、たったの8339票。これは断じて「健闘」ではなく、「惨敗」である！

4年前に「候補者説明会を10日も過ぎた5/21になっしょうことなしに出た『つくる会』役員・民商代表の弘瀬さん」の9826票より約1500票も減らしている！

*「つくる会」の正式名称は「市民こそ主人公の住みよい門真市政をつくる会」で、共産党勢力の市長選挙専用の連合団体。4年に1度だけ現れるのが特徴



8年前の元共産党市議の河野登美子候補の時には6/1出馬記者会見で1万0595票だったのに、今回は過去3回でダントツに早期の4/19に出馬記者会見をしての8339票。

- これは、東市政での野党・戸田3106票＋共産党5人で7279票＝合計1万0385票より2046票も少ない！
- 住民投票で合併反対に投じた推定3万5000票からすれば2万6661票も少ない！

なぜこんなことになってしまったのか？

原因は明らかである。

1：共産党が愚劣で独善的な排他主義（共産党単独主義）に走ったこと。

市長選で勝利する土台が合併反対に投じた推定3万5000票の結集を大切に、戸田と共産党5人の合計1万0385票を核心としつつ、住民投票をサボった心情合併反

対層を今度は決起させることにあるのは誰が考えても分かることだが、共産党・「つくる会」がやったことは、「合併反対闘争の突進者で看板＆ブッチギリトップ当選の革新派議員」たる戸田とその支援のすそ野を実質的に排除し、合併反対派市民のまとまりを破壊し、あからさまな共産党単独陣形で固めることだった。

*合併反対運動を思い起こさせて東打倒をする最も効果的な戦術は、田中知事の支援来訪だが、共産党単独陣形では絶対に来てくれないのは明白で、この点でも彼らは勝利の大きな芽を自ら潰したのである。

（そういう戦術も考えてなかった？）

共産党の排他的路線で固めておいて、一方で「市民に幅広く開かれた運動」であるかのような欺瞞宣伝で市民を騙そうとする運動はマイナスでしかない。

戸田陣営実質排除だけでなく、合併反対・住民投票運動で動いた人で今回声もかからなかった人、全然顔を出さなかった人が沢山いる！

欺瞞宣伝するくらいなら、「共産党や共産党支持者と一緒にやりましょう！」と鮮明に実態を出して運動する方が、まだ市民の支持を得られただろう。

*やりようによっては、守口初め他市の共産党以外の議員をどんどん応援に呼び寄せ共産党色を薄めることができたのに、来るのは共産党議員だけ！

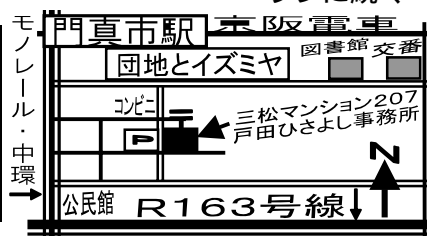
2：選挙戦術・宣伝物・市民への訴えが拙劣レベルに過ぎたこと。



ウラに続く

困っていること、おかしいと思うこと、こんな事してみたい、などあれば何でもお気軽にご相談下さい。リストラや給料・残業代、配置転換や嫌がらせ、下請け代金の問題等でもあなたを応援します。

戸田ひさよし事務所；門真市新橋町 12-18
（門真市駅南2分）三松マンション 207
：06-6907-7727 FAX；06-6907-7730
自宅：門真市北巢本町 17-7 安井文化 202
（青山自治会館隣り）；072-885-6491



詳しい情報は戸田HPにて！「戸田ひさよし」ですぐに検索できます！

河原林候補惨敗の分析と解説(続き)

共産党関係者の間ではきっと「いい出来のピラ」だと褒め合ったのだろうが、一連の「つくる会」ピラは、色づかい・デザイン・文言のどれも基本的には「いかにも共産党」の「ありきたりピラ」でしかなかった。

これは予算の問題ではなくセンスの問題である。

「単に正しい主張」と「人々の心を今ギョッとつかみ揺さぶる正しい主張」は違う。

「市長がかわれば暮らしが変わる」なんてことは、いつ・どこかの市長選でも言えることであって、今門真市民の心を揺さぶることは20年マンネリ東市政への具体的な批判であり、また出馬することへの怒りの表明である。

そして財政を傾け市民意志と反対に合併に走ってなおかつ居直る無責任・ケジメなし政治への批判であり、情報隠しと利権集票政治への批判である。

子育て政策への批判等は今回はそれらの下に位置付けてメリハリをつけなければ、「十年一日の如き共産党型マンネリ宣伝」と思われるだけだ。

それらの「効果的な批判」は、ほとんど園部陣営に先行されお株を奪われっぱなしだったと言ってよい。

園部ベピラがいろんな数字・金額を出して財政再建を語るのに対して、そういう数字・金額を出しての説得的宣伝が非常に弱かった。

- 全国的著名人の支援を全く呼ばず、関西的著名人すら呼ばない「門真単独主義」は、現状の門真での「大勝負」に勝つ意志がないのも同然。
- 今時HPも作らずに「大勝負選挙」をするIT無視体質。ピラも載せない河原林ブログだけでは話にならない。

同時に、独自HPも開設せずピラは共産党HPにだけスイスイと掲載される「つくる会」の実態は、共産党ベッタリで自立的市民団体ではないことも露呈している。(戸田HPでは戸田の自助努力で掲載した)

- 今回の惨敗は、共産党・「つくる会」には自業自得だが、門真の市民意識・市民運動からすれば大きなキズを与えられてしまった。

(戸田にとっても「戸田あれだけ通信や何やらで支援した人がたったの8339票で惨敗」と支持者や広範な市民に認識されることは、大きな損害であり信用失墜である。)

今回うまくいけば1万5000超あたりで当選、ダメでも1万3000前後、いくら最低でも1万1000程度、が本来の筋だったのに8339票ではあまりにも低い。

- この8339票には戸田のピラやHP支援での数も含まれてのことであり、戸田が全く支援表明しなかったら、せいぜい7000票代になっていたはず。

- さらに！もしも戸田が独自候補を立てて、共産党陣営候補をバシバシ批判していたら共産党陣営候補票はぐっと減って5000票前後だったろう。

共産党市議5人で7279票なのに市長選では5000票前後！

戸田がもしも全力で共産党陣営候補批判をやれば、必ずそうしてみせる自信が戸田にはあるし、戸田陣営候補の票の方が共産党陣営候補を上回ることにも自信がある。)



次の市長選挙では、もちろん戸田と共産党のしっかりした共闘をすべきだが、万一どうしてもそうできない場合は、批判点をハッキリさせた闘いをするだろう。

共闘の前提として「人間としての礼儀」が大切であることも、共産党に対しては付け加えておく。

↓門真の共産党のこういう体質が問題だと思う↓

どこの選対でも選挙が終わったら、落選したら落選したなりに、支援者各位に選挙結果報告と支援のお礼あいさつを送るものである。

しかし門真には全然別の「文化」があるのだろうか？

既に公表しているように、戸田は河原林氏支援で直接経費だけでも約30万円の身銭を切り、河原林推薦・東批判を徹底的に打ち出した顔写真入り「ヒゲ戸田通信」3万2000部余を門真市内に配布・郵送し、HPでもガンガン宣伝し、自転車でも回って宣伝してきた「有力支援者」である。

これほどの支援実践にも拘わらず、戸田に対しては公示前も公示後も全く連絡がなかっただけでなく(公開質問状への回答を持ってきただけ)投票日から9日も経過した7/5現在でも、電話1本、FAX1枚の報告もあいさつも寄せられていない。

共産党の機関紙やHPに載せる報告文章は先週半ばには作ったのだから、普通の感覚のある人達ならそれをそ

のままFAXで各支援者に送るくらいのことはするものだろうに。

戸田が思う「普通人の感覚」では、これは「ものすごく非礼で非常識」なことだと思うのだが、門真の共産党勢力の人々にとってだけはそうではないのだろうか？

戸田はよく「門真のこれまでの風土は(市議会も)『ひとつ目人の国』みたいに、普通の感覚を持った人の方が異常扱いをされるところがある」と説明してきた。

それは現にそういう目に会ってきた多くの市民から話を聞いてきたからだが、それらの人々は異口同音に「そのうちにかおしいと思っている自分の方がおかしいのかな、という気持ちになってしまう」と言っていた。

「人にあいさつする」のは人間として基本中の基本だと思うし、まして「幅広い市民の共同」だとか言って選挙での支援を受けるのであれば、「きちんとあいさつする」のはなおのことだと思うのだが、こう思う戸田の方が「異常」なのだろうか？